

# ProMED-mail 情報 2015年 4月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	髄膜炎菌性髄膜炎 ニジェール	今年度、7地方で1543名の疑い患者発生、うち147名は死亡。髄膜炎菌血清型はC型が主流で、一部にW型も同定。ワクチン接種が強化。
29日	下痢 地震後ネパール	清潔な飲み水がないため下痢患者が増加中。元来、中央地方はコレラの発生頻度が高く、地震前から安全な水確保がUnicefの最優先課題。
22日	インフルエンザ WHO	2013~2014年にWHO協力機関に集められた10641のインフルエンザウイルスでノイラミニダーゼ阻害剤に対する抵抗性試験を実施。全体の2%で、オセルタミビル、ザナミビル、ペラミビル、ラニナミビルのいずれか（主はオセルタミビル）に高い抵抗性が検出。
17日	内蔵リーシュマニア症 タイ	1996年からタイでは内蔵リーシュマニア症の報告あり。今回は52歳男性、タイ北部で初めての報告。骨髓穿刺液のマクロファージ中に多数の無鞭毛虫体を検出。
16日	デング熱 中国	今年度は4月11日までに19地区で67例報告。昨年度は全土で46000名が発症。広東省が最流行地域。
15日	A型肝炎 香港	今年1月以降の感染者は64名。全員予後良好、死亡例なし。うち19名の感染源はベリーで、特に8名はブルーベリー。しかしA型肝炎感染増加とブルーベリー喫食との因果関係は不明。
15日	エボラ WHO	エボラ出血熱発症後6か月近くの回復患者の精液中にエボラウイルスを検出。以前の報告では発症後3か月の回復患者精液。この精液中ウイルスが感染源となり得るかは不明。さらに調査研究が必要。
13日	鳥インフルエンザH5N1 エジプト	昨年11月以降、134名発症し38名死亡。2006年以降、発症者は計336名に及び、最近3か月の発症者が急増中。しかし、感染リスクは以前と変わらない評価。
11日	リステリア症 USA	ブルーベル社アイスクリームを感染源としたリステリア症がカンザス州で5名、テキサス州で3名発症。カンザス州で3名死亡。先月、ブルーベル社の25種類以上の乳製品を回収、同社オクラホマ工場は製造停止処分。
7日	ニパ脳炎 バングラデシュ	2月に9例のニパウイルス感染あり、6例死亡。自然宿主であるフルーツコウモリの尿や唾液により汚染された果物類の喫食が主な感染源と推定。ヒトヒト感染なく、宿主コウモリは無症状。
6日	狂犬病 フィリピン	フィリピン北部タバコ市で43歳男性が2月に野良犬に咬まれて、無処置。その後発症し4月2日に死亡。発症例はフィリピン全地方にあり、2013年は199名の死亡例。
5日	黄熱病 アルゼンチン	広範囲にまたがる7州で疑い患者計20例。エントレ・リオス州で確定患者2例の報告。その内の1例は黄熱病ワクチン接種歴あり。
4日	アナプラズマ症 中国	過去2か月間ノミに咬まれた患者477人の血液から28人に新種アナプラズマ感染をPCRで診断。アナプラズマはダニ媒介細菌で反芻動物（山羊等）の胆嚢病として知られていた。人獣共通感染症としてヒトにも感染し、発熱、頭痛、発疹の症状。
2日	鳥インフルエンザ(H5N1) エジプト	2014年夏以降、家禽中に流行しているH5N1鳥インフルエンザのクレード2.2.1.2中に新クラスターのウイルスが発見され、感染の主流となっている。この新クラスター変異が先月からの鳥インフルエンザ(H5N1)ヒト感染増加の原因かもしれない。